



## 器具

受配電・制御機器分野においてグローバルに事業展開を進める仏シュナイダーエレクトリック社との合併事業として展開しています。両社が持つ製品力とノウハウを結集し、新たな国際規格とグローバル化に対応するとともに、様々な分野の省エネ・安全といったニーズに対応する業界トップレベルの豊富な機器の品揃えと、万全なサポート体制で事業を展開していきます。



### セグメントの有する優位性

受配電・制御機器分野において、機械メーカーや受配電盤メーカー向けに確固たる顧客基盤と全国規模の販売ネットワークを有しており、配線用遮断器や漏電遮断器、電磁開閉器や操作表示機器など国内トップクラスのシェアを誇る製品群を展開しています。また、これら当社グループの製品と、仏シュナイダーエレクトリック社が持つ高性能・高付加価値の省エネ機器や安全機器などを組み合わせ、主要国際規格対応を含めた、他社の追随を許さない豊富な品揃えを有しています。

億円

	2009年度	2010年度見通し	増減
売上高	449	580	+131 (+29.2%)
営業利益	-47	10	+57 ( — )

### 市場環境

2009年度の市況は、世界的な景気低迷により、国内・海外ともに前年度を大きく下回りました。2010年度の市況は、緩やかな回復基調で推移すると予想されるものの、世界同時不況以前の水準までの回復には至らないものと予想しています。

### 2010年度の部門方針・戦略

2009年度の構造改革の成果抽出と施策強化を推進し、2010年度での営業損益の黒字化の実現と、2011年度以降の持続的な成長と安定収益を可能とする事業基盤づくりを行います。その主な施策として、富士電機グループとシュナイダーグループとのシナジー戦略を加速します。具体的には、両社の優れた製品群による最適なプロダクトミックスを構築し、市場分野に応じた最適な製品供給により、売上高の拡大と収益性の確保を図ります。

このような施策のもと、国内市場においては、エンドユーザーへの営業力強化と、他社と差別化された製品ラインアップ展開により、受配電市場での拡販を推進します。海外市場では、高い成長が見込まれる中国を中心とするアジア市場において、豊富な品揃えを強みに受配電市場への参入や機械メーカーへの拡販、さらに強い顧客基盤を持つ国内メーカーにおける海外設備投資向け拡販を図ります。

さらに、製品開発においては、シュナイダーグループと次世代製品に関する共同開発や開発分担を加速させ、グローバルでの製品競争力の強化を進めます。